

米沢市立病院経営強化プラン

各年度別数値目標及び実績

経営指標 ()は単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度	令和9年度	説 明
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値	
収支改善に係るもの								
経常収支比率(%)	92.0	86.1	93.4	93.5	98.5	99.4	100.1	経常費用が経常収益によって、どの程度賄われているかを示す指標。病院が安定した経営を行うための財政基盤を確保するためには、100%以上が望ましい。
医業収支比率(%)	88.0	84.1	89.8	87.3	90.1	90.9	91.5	病院の本業である医業活動による収益性を示す指標。100%以上あれば医業だけで利益が発生している。繰入金を考慮すると95%以上が望ましい。
修正医業収支比率(%)	86.6	80.3	86.6	83.3	86.9	87.7	88.3	医業収益から一般会計からの繰入金を除いたものを医業費用で除した割合。
収入確保に係るもの								
病床稼働率(%)	75.0	68.7	90.2	89.4	91.5	91.7	92.0	年間延べ病床数に対して年間延べ入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標。
入院診療単価(円)	60,717	60,291	64,050	62,365	64,100	64,200	64,280	病院経営の基本的な指数。患者1名が入院1日あたりの診療に掛かる金額。
外来診療単価(円)	14,962	14,962	14,500	14,384	14,497	14,497	14,496	病院経営の基本的な指数。患者1名が外来1回あたりの診療に掛かる金額。
経費削減に係るもの								
職員給与比率(%)	71.0	65.6	63.4	61.8	61.4	60.4	59.8	医業収益に対する職員給与費の割合。病院の職員数等が適切か否かを判断する指標。
材料費比率(%)	21.7	21.8	19.8	20.9	19.8	19.8	19.7	医業収益に対する材料費の割合。病院の材料費が効果的に使用されているか判断する指標。
経営の安定化に係るもの								
医師数(人)	46	46	47	46	48	49	50	年度始めの常勤職員数。
資金不足比率(%)	資金不足なし	資金不足なし	資金不足なし	1.1	資金不足なし	資金不足なし	資金不足なし	公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合を示す指標。

経営指標 ()は単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度	令和9年度	説 明
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値	
医療機能・医療品質に係るもの								
地域救急貢献率(%)	40	37.2	50	49.3	50	50	50	地域で救急搬送された患者に対して、病院で引き受けた救急車来院患者数の割合。
時間外患者数(人)	7,190	7,550	9,840	10,146	9,840	9,840	9,840	診療時間午前9時から午後5時までの時間以外の患者数。
手術件数(件)	2,615	2,568	3,050	3,135	3,050	3,050	3,050	病院の診療実績を評価するための重要な指標。入院と外来の件数を合計。
リハビリ単位数(職員一人・一日あたり単位)	14.8	12.9	17.7	13.5	18	18	18	1単位が20分のリハビリに相当し、職員一人・一日あたり通常18単位が基準とされている。
患者満足度(%)	70	83.6	80	87.0	90	90	90	入院患者を対象にした病院に関するアンケート内の診察・処置など医療の内容の質における「満足、非常に満足」の割合。
在宅復帰率(%)	90	91.7	90	88.3	90	90	90	入院患者の退院先が自宅等に退院した割合。「自宅等」とは、自宅以外に、他院の回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟等のほか、居住系介護施設又は介護老人保健施設も含まれる。
連携強化に係るもの								
紹介率(%)	75	75.8	80	72.2	80	80	80	初診患者(救急搬送初診患者、休日時間外初診患者を除く)のうち他の医療機関から初診紹介された患者の割合。
逆紹介率(%)	119.5	131.2	119.5	129.1	119.5	119.5	119.5	初診患者(救急搬送初診患者、休日時間外初診患者を除く)のうち他の医療機関に紹介した患者の割合。紹介状を持たない外来患者や救急患者の紹介で100%を超える。
その他								
臨床研修医受入件数(件)	3	3	4	4	6	7	7	一学年定員4名。他の医療機関からの受入れ件数は除く。